

授業科目(ナンバリング)	総合演習ⅢA (NH608)		担当教員	薬学科専任教員(責任者:藤田英明)			
展開方法	演習	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	6年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
総合演習Ⅲでは、これまでに各専門分野において学修した数多くの知識や技能に関する事柄を整理し、薬剤師として必要な学問的基盤を確固たるものとし、質の高い薬剤師養成につなげることを目標とする。総合演習ⅢAは、特に薬学の理論的基盤を学修する集大成科目として位置づける。また、本学のモットーである「ホスピタリティ」を具現化した茶道教育を通して、薬学部のヒューマニティ教育(倫理感、コミュニケーション力、多様性理解力)の集大成とする。							①④⑨⑩ ⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	薬剤師になるための基礎的知識の修得に向けて意欲的に学修できる。薬学的知識を基盤として医療に関する諸問題について考え、説明できる。薬剤師に要求される薬学的知識を総括し説明できる。			授業態度、授業・議論への参加(週間試験)、総合演習ⅢA 単位認定試験		90%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	茶道教育を通して、亭主と客とのコミュニケーション(接遇)の在り方を修得し、薬剤師として患者や協働医療従事者より良い関係の構築に応用できる。			実習やSGDの取り組み状況・意欲		5%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	茶道教育を通して”おもてなし”の心を培うことで、薬剤師として異なるバックグラウンド(年齢、趣味、文化、国籍など)を持つ様々な患者や協働医療従事者に対して理解を示しながら接することができる。			課題レポート		5%	
出席							受験要件
合計							100%
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
随時試験として実施する総合演習ⅢA 単位認定試験(3回、追再試験あり)および期間中原則毎週行う週間試験の成績を総合的に評価し、単位認定を行う。また、学内実力試験への積極的な参加態度を単位認定試験受験要件に加味する。各回の試験成績はポートフォリオ等でフィードバックする。茶道によるヒューマニティ教育では、レポート内容や実習への取り組み姿勢及びSGDでの積極性についてルーブリックを用いて評価する。							
授業の概要							
演習、問題解説を中心に進める。実践的な問題を解き、その内容に関する詳細な解説を中心に講義する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。茶道によるヒューマニティ教育では、薬剤師の医療業務におけるホスピタリティ精神の重要性についてのレポート提出とSGDを実施する。							
教科書・参考書							
教科書:別に指示する。 参考書:別に指示する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
「薬学教育モデル・コアカリキュラム等」の内容(一般目標・到達目標)の総復習を徹底する、効率のよい学修をしてほしい。積極的な態度で授業にのぞむと共に、授業の復習を確実にし、週間試験を受験してほしい。演習中、演習後の質問はおおいに歓迎する。また、自己学修では、参考書、問題集を有効に利用し、ノートに要点を書き写すなどして、繰り返し復習すること。茶道の精神を学ぶことで、薬剤師と患者や協働医療従事者との関係性において何が最も重要かについて考えてもらいたい。 ※本演習はオムニバス方式であるため、オフィスアワーは、各教員に直接問い合わせること。							

No.	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	茶道文化を通じたコミュニケーションスキル1	「礼法、点て出しの仕方」：日常生活に必要な礼儀作法を学び、医療従事者としての患者対応において活かすことを考える（嶋内、藤田、梶島、淀、早川、小川、隈、出口他、薬学科専任教員）	“ホスピタリティ”の、“サービス”や“マナー”との意味の違いについて調べる（予習）
2	茶道文化を通じたコミュニケーションスキル2	「お菓子の取り方、お茶室の出入りの仕方、お茶の点て方・飲み方」：茶会の基本について学ぶ他、お茶の種類、抹茶成分や機能について学び、人の健康維持・増進について考える（嶋内、小川、出口他、薬学科専任教員）	薄茶点前の流れを復習する。お茶の成分が健康に与える影響について調べる（予習）
3	茶道文化を通じたコミュニケーションスキル3	「ミニ茶会の準備・練習」：グループの中でのコミュニケーション能力を高めると共に、“もてなし”の心を理解することで医療従事者として他者への対応がどうあるべきか考える（嶋内、小川、出口他、薬学科専任教員）	茶会（茶室）で分担された役割（亭主・客など）について確認する（復習）
4	茶道文化を通じたコミュニケーションスキル4	「ミニ茶会」と「SGD」：茶事の運営を通して相手への心遣いや協調性、礼儀作法を学び、薬剤師業務だけでなく、一般社会生活において他者とのコミュニケーションで何が最も重要かをSGDにより明確化する（嶋内、藤田、梶島、淀、早川、小川、隈、出口他、薬学科専任教員）	病院（ホスピタル）とホスピタリティの語源が同じであることを踏まえ、薬剤師と患者の関係がどうあるべきかをレポートにまとめる（予習：課題）
5	物理系薬学1	物理化学、分析化学、放射線化学（物理系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
6	物理系薬学2	物理化学、分析化学、放射線化学（物理系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
7	化学系薬学1	有機化学、医薬品化学、生薬学（化学系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
8	化学系薬学2	有機化学、医薬品化学、生薬学（化学系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
9	生物系薬学1	機能形態学、細胞生物学、生化学、免疫学、分子生物学、微生物学（生物系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
10	生物系薬学2	機能形態学、細胞生物学、生化学、免疫学、分子生物学、微生物学（生物系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
11	衛生1	衛生化学、栄養化学、毒性学（毒物動態含む）、環境微生物学、衛生関係法規（衛生系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
12	衛生2	公衆衛生学、環境科学、疫学、生態学、環境保全関係法規、学校保健安全法（衛生系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
13	薬理1	薬理学（薬理作用、作用機序）（臨床基盤系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
14	薬理2	薬理学（薬理作用、作用機序）（臨床基盤系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
15	薬剤1	薬剤学（臨床基盤系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
16	薬剤2	薬剤学（臨床基盤系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
17	病態・薬物治療1	病態・疾病学、臨床検査学、薬物治療学（臨床基盤系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
18	病態・薬物治療2	病態・疾病学、臨床検査学、薬物治療学（臨床基盤系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
19	法規・制度・倫理1	関係法規、保険制度、医療倫理学（臨床実務系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
20	法規・制度・倫理2	関係法規、保険制度、医療倫理学（臨床実務系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
21	実務1	薬剤師の業務に関する基礎的及び実践的な知識・技能・態度に関する事項（臨床実務系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
22	実務2	薬剤師の業務に関する基礎的及び実践的な知識・技能・態度に関する事項（臨床実務系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
23	実務3	薬剤師の業務に関する基礎的及び実践的な知識・技能・態度に関する事項（臨床実務系教員）	教科書・配布プリントの内容確認
24	単位認定試験	期間中実施する2回の総合試験と1回の必須問題試験	

注) No. 1-23 は授業の概要を示したもので、講義の順番は変更されることがあります。

<物理系教員>市川、大庭、高井、榎本、吉田、中村 <化学系教員>佐々木、山口（泰）、淀、宇都、山田、太田（智）、田中（啓）、大神 <生物系教員>岸原、黒川、深澤、藤田、田中（宏）、石原、藤井、藤木、藤本、松下 <衛生系教員>小川、小林、佐藤、長岡、相田、出口、倉岡 <臨床基盤系教員>梶島、隈、西奥、山口（拓）、太田（一）、神谷、高崎、縄田、福森、波多江 <臨床実務系教員>大磯、早川、室、神田、大久保、末廣、中島